

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公開番号】特開 2019-203108 (P2019-203108A)

【公開日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-048

【出願番号】特願 2018-100948 (P2018-100948)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 97/02 (2006.01)

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 97/02

C 0 8 L 77/00

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

部分加水分解された微細セルロース (A)、及び熱可塑性樹脂 (B) を含む、樹脂組成物であって、前記部分加水分解された微細セルロース (A) は、ミクロフィブリル又はミクロフィブリル束において、表層の一部が加水分解されている、樹脂組成物。

【請求項 2】

さらにヘミセルロース (C) を含む、請求項 1 に記載の樹脂組成物。

【請求項 3】

部分加水分解された微細セルロース (A) が、繊維長 / 繊維径のアスペクト比 30 以上の微細セルロース繊維である、請求項 1 又は 2 に記載の樹脂組成物。

【請求項 4】

部分加水分解された微細セルロース (A) が、重合度 450 以上に相当するピークトップ分子量を有し、

部分加水分解された微細セルロース (A) において、前記ピークトップ分子量以下の分子量を有する低分子量成分の量を S1、前記ピークトップ分子量を超える分子量を有する高分子量成分の量を S2 としたとき、S1 / S2 が 1.00 より大きい、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

【請求項 5】

前記 S1 / S2 が、1.00 より大きく、3.00 以下である、請求項 4 に記載の樹脂組成物。

【請求項 6】

部分加水分解された微細セルロース (A) の平均繊維径が 4 ~ 3000 nm である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

【請求項 7】

部分加水分解された微細セルロース (A) / 熱可塑性樹脂 (B) の質量比 (A) / (B) が 0.01 ~ 1 である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

【請求項 8】

前記樹脂組成物がヘミセルロース (C) を含み、ヘミセルロース (C) / 部分加水分解された微細セルロース (A) の質量比 (C) / (A) が 0.001 ~ 0.2 である、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

【請求項 9】

前記樹脂組成物がヘミセルロース (C) 及びリグニン (D) を含み、リグニン (D) / ヘミセルロース (C) の質量比 (D) / (C) が 0.001 ~ 1.0 である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

【請求項 10】

熱可塑性樹脂 (B) がポリアミド系樹脂である、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

【請求項 11】

前記部分加水分解された微細セルロース (A) は、マイクロフィブリル又はマイクロフィブリル束において、内層が加水分解されていない、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の樹脂組成物。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の樹脂組成物の成形体である、摺動性部材。